

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月1日  
令和2年1月号



## 令和2年の新春を迎えて

公益社団法人千葉県園芸協会  
理事長 間 淵 誠 一

明けましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年、本県に上陸した台風15号、19号、並びに10月25日の大雨により被害にあわれた方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

農業被害に関しましても、ビニールハウスやガラス温室などの生産施設の倒壊や破損に加え、本県の農業生産を支える多くの農作物において、今までに経験したことのない甚大な被害が発生しました。

今回の度重なる台風等の被害により、多くの生産者の経営に大きな影響をもたらしておりますが、当協会としましても台風15号の発生直後、各生産者団体の代表者とともに、県農林水産部を訪問し、被災した産地、生産者の1日も早い復旧、復興に向けての支援に対し、要望を実施いたしました。

行政機関やJAグループ等のお力もあり、今回の災害支援に対する事業については、最大限の支援策を講じて頂き、関係者皆様の多大なる御尽力にこの場をお借りしまして、心より感謝いたします。

現在は、支援事業の活用について期間を延長するなどし、要望の取りまとめが継続されております。また、その後の被災の調査等により支援内容も追加されるなど、支援の幅が広がり見直されていることもあります。詳しいことは県の対応機関窓口（県農林水産政策課・各地域農業事務所等）に相談いただき、復旧の道筋に、1人でも多くの方が活用され、早期に営農再開できるよう、願っております。

さて、農業を取り巻く状況は、直近での台風等による災害等の影響もあり厳しい状況に直面しておりますが、本年はいよいよ「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催される輝かしい年となります。

本大会の開催が契機となり、本県農業が活性化し、更なる発展に繋がるよう、当協会としましても、関係者の皆さまとともに、より力強く「オール千葉」での積極的な取組を実施してまいりますので、今後とも御支援、御協力のほど、よろしく願いいたします。

結びに、皆さま方の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

野菜ニュース



## 千葉県にんじん協議会の取組について

公益社団法人千葉県園芸協会  
産地振興部 主幹 梅澤 利明

(公社)千葉県園芸協会では、平成26年度以降、産地活性化の機能強化を図り、全農千葉県本部、県、JA等と関係者が戦略的に連携し、「トマト」や「ねぎ」、「にんじん」などの主要品目で、オール千葉体制による生産力・販売力強化に向けた取組を進めています。

### 1 取組の背景

千葉県における平成29年産のにんじん産出額は138億円と全国1位であり、全体の約22%を占めています。本県は春夏にんじん・冬にんじんの主要産地であり、主に東葛飾・千葉・印旛・香取・山武地域で盛んに栽培されています。

東京都中央市場には秋～初夏にかけて入荷されており、特に11月から3月にかけては、市場占有率が約50～80%と非常に高くなるなど、本県の重要な品目の一つとなっています。

### 2 千葉県にんじん協議会の設置

このような中、「品質の安定化と周年販売体制の強化」を目指し、県内のにんじん産地が連携して生産・販売対策に取り組むことを目的に、平成26年度に「千葉県にんじん協議会」を設置しました。

### 3 これまでの取組

#### ①産地JAによる合同販売促進活動の実施

- ・各JAが合同で、市場や量販店等で県産にんじんをPRするための合同販促を実施[H26～]。
- ・スイングPOPやシールなど、販促資材を作成[H27]。



合同販促の実施（大田市場）

#### ②大口需要への対応のため、出荷規格の統一に向けた検討

- ・各産地に出荷規格統一の提案[H27]。出荷小袋の規格とデザインの統一[H27]。主要等級の「L」級を統一[H28]。「チーバくん」を使ったデザインの出荷箱への統一[H29]。



デザインを揃えた出荷小袋



スイングPOP

#### ③難防除害虫の「ヒョウタンゾウムシ」の防除対策の検討

- ・効果の高い農薬の登録拡大に向けた試験の実施[H28～]。

#### ④生産拡大に向けた研修会や実演会の開催

- ・省力・安定生産のための指導者向け研修会等の開催[H26～H28]。先進地（北海道）視察の実施[H29]。

#### ⑤その他

- ・ロット集約や予冷库活用等を進めるため意向調査の実施[H30]。

### 4 今後の取組

今後も、県内のにんじん産地の連携により、生産・販売拡大の取組を進め、他産地に負けない産地づくりのため、新たな課題の洗い出し・解決方法を検討し活動を進めてまいります。



## 植木の生産拡大に向けた支援について

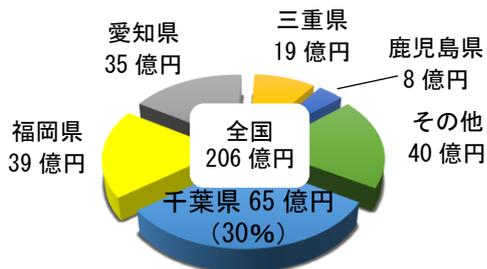
千葉県農林水産部生産振興課  
園芸振興室 主査 吉沢 雅弘

千葉県は出荷額全国1位を誇る植木生産県です。県では国内需要に即した生産体制を構築するため、11月20日に生産者と実需者が直接意見交換を行う「植木の商談に向けた展示会」を今年度新たに開催しました。当日は出展者を含めて72名の出席があり、生産者の今後売り込みたい樹種についての意見交換・商談が行われました。また、植木の輸出に対しては、昨年引き続き、相談窓口を開設するとともに、2月には研修会を開催する予定です。

### 1 千葉県の植木生産について

本県は、植木出荷額が65億円（平成29年）で全国第1位の産地です。県内では伝統的技術を生かした庭園樹木その他、公共から民間まで利用される緑化用樹木、ホームユース用鉢植木など、様々な用途に応じた生産が行われています。

また、植木輸出額（平成30年）は25億7千8百万円で県産農産物輸出額26億8千5百万円の96%を占める重要な品目になっています。



平成29年産花木等生産状況調査



植木を扱う実需者も多く参加しました

市場関係者、ガーデナーなどの専門家や、関係機関など53名の出席者がありました。

展示会では、生産者が「これから売り込みたい」植木の樹種を会場内に展示し、出展ブースごとに、意見交換を行いました。意見交換については、種苗センター植木アドバイザーである柴田忠裕氏がコーディネーターを務め、出展者が各園の特徴や出展物の説明を行った後、参加した実需者や流通業者と意見交換を行いました。

終了後の生産者へのアンケートや意見交換では、今回の展示会が役に立ったという感想が多く寄せられました。また、一方で改善に向けた意見も出されており、いただいた意見をもとに、次回開催につなげてまいります。

### 2 植木の商談に向けた展示会の開催について

今年度新たな取組として、生産者と実需者が直接意見交換を行い、両者の意向をマッチングさせ、需要に即した生産に役立てるとともに、植木の販路拡大を図るため、11月20日に千葉県園芸協会の種苗センターにおいて、「植木の商談に向けた展示会」を開催しました。この展示会は千葉県園芸協会に企画・運営を委託し実施したもので、開催に当たり、県内の植木生産者に出展を呼びかけたところ、19件の出展がありました。また、当日は、造園業関係者、



生産者が売り込みたい樹種について、意見交換を行いました

### 3 輸出への支援について

植木輸出の取組支援として、昨年度に引き続き、植木輸出の相談窓口を開設しています。県内の植木生産者であれば、相談料は無料です。千葉県園芸協会のホームページからお申し込みください。

また、令和2年2月7日(金)午後東金文化会館で植木輸出の情勢、植物検疫に係る研修会の開催を予定しています。植木の輸出に取り組まれている方、今後取り組みたい方はお問い合わせください。

(お問い合わせは、千葉県農林水産部生産振興課  
TEL 043-223-2871まで)

県では、今後も植木の生産拡大に向けた取組を行ってまいります。

果樹ニュース



## ビワ白紋羽病の温水治療技術が 新たに開発されました

千葉県農林総合研究センター  
生物工学研究室 研究員 高橋 真秀

白紋羽病は、ビワやナシの根に病原菌が寄生して樹を枯らしてしまう果樹の難防除病害です。ビワ白紋羽病に対して、45℃の温水を用いた治療技術を開発したので、その具体的な処理方法を紹介します。

### 1 はじめに

白紋羽病は一度発生すると、周辺の樹に次々と蔓延します。また、病原菌は、発病樹が枯死した後も土の中で何年も生存するため、防除が非常に難しい病気です。そのような中、白紋羽病菌は熱に弱くことが明らかになりました。この点に着目し、近年、50℃の温水を樹の株元に点滴し、病原菌を殺菌する温水治療技術がナシ等を対象に実用化されました。しかし、ビワはナシ等よりも熱に弱く、同技術をそのまま使うことができませんでした。

そこで、ビワ白紋羽病の治療に最適な温水処理条件を検討し、その効果を実証しました。治療対象樹の選定から治療後の留意点まで、具体的な処理方法を紹介します。

### 2 治療対象樹の選定

軽症な樹を対象にすることが治療成功のポイントです。ほ場にてビワやクワ、ナシ等の枝を株元に挿入し、発病の有無を診断できる「枝挿入法」(農研機構、白紋羽病温水治療マニュアル改訂版、2013年、[https://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/files/onsuitiryu\\_man\\_2013.pdf](https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/onsuitiryu_man_2013.pdf))は、外観では判断が難しい発病樹を早期に発見するのに有効です。葉が下垂しているような重症な樹では、温水治療を行っても回復しないケースがあります。重症な樹がある場合は、その周辺の樹に処理を行います。

### 3 温水処理の実際

地温が高い7~9月が処理適期です。白紋羽病治療用温水点滴処理機 (EB-1000、エムケー精工 (株)、約160万円) を用いて、樹の株元1.5m四方の範囲に

点滴チューブをなるべく水平に設置し、45℃の温水を点滴します(写真)。処理中、地下10cm及び30cmの地温を3か所ずつ計測し、地下30cmの3か所が35℃を超えるまで処理を行います。また、樹に障害が出ないように地下10cmの1か所でも43℃を超えた場合は処理を終了します。温水の点滴には、4~7時間、1樹当たり600~1,000Lの水を要します。1樹当たりの灯油等の費用は約500円と試算しています。電気や水道がほ場に無い場合は、発電機や貯水タンク等を利用します。なお、治療後も、白紋羽病は再発するおそれがあるため、枝挿入法等により、経過観察を行います。



写真 ビワ樹への温水治療の様子

安房地域の現地ビワ園で行った実証試験では温水治療により2年以上効果が持続しており、処理樹の樹勢回復が確認されています。

### 4 おわりに

ビワ白紋羽病の温水治療については、農研機構から「白紋羽病温水治療マニュアル2018年速報版」([http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/files/onsuitiryu\\_man\\_2018.pdf](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/onsuitiryu_man_2018.pdf))としてもまとめられています。今後、本技術が県内ビワ産地の維持発展に寄与できれば幸いです。

花植木ニュース



## 夏の花壇に！ 雨・湿気に強いペチュニア品種

千葉県農林総合研究センター  
花植木研究室 研究員 室田 有里

ペチュニアは日差しに映えるカラーバリエーションが魅力の、夏の花壇の主演級の花です。暑さに強い反面、雨や湿気には弱いため、きれいな花壇を維持するには品種選びが重要です。梅雨前に定植し、梅雨明け後にもきれいな花壇が維持できる品種を紹介します。

### 1 夏の花壇の主演、ペチュニア

ペチュニアは、紫系を中心に、白、赤、黄色など多様な花色と草姿が魅力の夏の花で、県内の多くの花壇苗生産者が栽培に取り組んでいます。暑さには強いものの、雨や湿気には弱く、花が傷んだり、病気で株が枯れたりすることも多いため、花壇の植栽に利用する場合には雨や湿気に強い品種を選定することが重要です。

平成29年7月に、夏の花壇での利用を想定した第63回全日本花卉品種審査会((社)日本種苗協会主催)が千葉県農林総合研究センターで開催されましたので、入賞品種を紹介します。

### 2 審査内容と結果

種苗会社5社から出品された17品種・系統を5月中旬に露地ほ場に定植し、7月下旬に花壇としての観賞性の高さを審査しました。今回の審査会では、5品種が入賞しました(表)。入賞した品種は、いずれも株のまとまりが良く、期間を通じて開花数が多く高い被覆率を維持しました。また花の痛みや株内部の葉枯れ症状が少ない品種でした。これらは、梅雨前から夏本番まで長期に観賞できる花壇苗として消費者へ提供できる品種と思われます。

表 入賞品種一覧

順位	立毛評価	等級	品種(系統)名	出品社
1	87.44	1等特	スーパーチュニアビスタチャームパープル	(株)ハクサン
2	87.33	2等	YES! イエロー (旧系統名: GB60-1)	(株)ミヨシグループ
3	83.78	3等	サルサ ピンクモーン	タキイ種苗(株)
4	82.44	3等	スーパーチュニアビスタパープル	(株)ハクサン
5	81.56	3等	サルサ パープル	タキイ種苗(株)

特に、1位「スーパーチュニアビスタチャームパープル」(写真)、2位「YES! イエロー (旧系統名 GB60-1)」は花の傷みと病気による枯れが少なく、管理に時間をかけたくない植栽管理者・消費者にお勧めできます。

### 3 終わりに

きれいに寄せ植えされたプランターや公園の花壇に植えられたペチュニアが、病気などで枯れたり傷んだりしないよう、露地で利用する場合には品種選定が重要です。今後もペチュニアの安定した需要を確保するために、露地での管理しやすさをアピールできる品種を選定し、植栽管理者向けに売り込むなど、生産者から情報発信をすることが大切です。



写真 1位「スーパーチュニアビスタチャームパープル」

## 「がんばろう！千葉」 農林水産物応援フェア

千葉県農林水産部流通販売課

県では、「がんばろう！千葉」キャンペーンの一環として、先の台風15号、19号及び10月25日の大雨の影響により、甚大な被害を受けた産地を応援するため、「がんばろう！千葉」販促資材を作成し、千葉県産農林水産物を応援して下さる、量販店やレストラン等の各種企業・団体等に活用いただいています。

### 【各フェアの様子】



### 流通販売課ホームページ「教えてちばの恵み」

フェアおよびイベント情報・販促資材の提供希望などの詳細は、こちらを御覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/bosyu/2019/ganbarou.html>

また、県内の宿泊施設で朝食に千葉の郷土料理が提供される「ちばの郷土料理フェア」を、1月16日(木)～2月29日(土)の期間限定で開催します。御利用の方には代表的な郷土料理を紹介するパンフレットを御用意していますので、この機会に県内の宿泊施設に泊まってみてはいかがでしょうか。対象の宿泊施設については「じゃらん net」の「ご当地大特集」に掲載予定です。

<https://www.jalan.net/>

## 第69回関東東海花の展覧会 開催の御案内

千葉県農林水産部生産振興課

関東東海花の展覧会は、関東東海地域12都県の切花や鉢花など約2,000点が集まる日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。今年度は、千葉県が当番県となり、約240点の出品の他、世界の玄関口である千葉県の魅力あふれる街の風景、生活の中に花を身近に感じられるディスプレイ等、県産花きを使用した「千葉県特別展示」を設置します。是非御来場ください。(入場無料)

### 【主催】

関東東海地域1都11県(千葉県を含む)及び  
全国花き関連6団体

### 【会期】

令和2年1月31日(金)～2月2日(日)

(公開時間) 1月31日(金) 13:00～18:00

2月1日(土) 10:00～18:00

2月2日(日) 10:00～12:30

### 【場所】

東京都豊島区東池袋3-1-4

サンシャインシティ文化会館2階展示ホールD

### 【内容】

花き品評会、フラワーデザインコンテスト、  
花の装飾展示、フラワーアレンジメント教室、  
展示品の即売等

### 【問合せ先】

千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

電話：043-223-2871



毎年約4万人の来場者で賑わう展覧会会場